



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山尾 康二  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画担当部長 (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	65,805	16.5	4,447	14.6	4,483	10.8	3,215	5.6
2024年3月期第3四半期	56,490	△3.4	3,882	△49.2	4,048	△45.2	3,045	△43.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,184百万円(6.3%) 2024年3月期第3四半期 2,994百万円(△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	45.19	-
2024年3月期第3四半期	42.79	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	125,788	57,881	46.0
2024年3月期	126,002	56,547	44.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 57,881百万円 2024年3月期 56,547百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	6.00	-	18.00	24.00
2025年3月期	-	8.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	-	-	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 3円00銭(創立70周年記念配当)

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,700	13.1	5,300	△5.8	5,000	△20.3	3,700	△25.3	51.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
連結業績予想の修正につきましては、本日(2025年2月7日)公表致しました「2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	71,270,910株	2024年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	98,836株	2024年3月期	98,836株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	71,172,074株	2024年3月期3Q	71,172,266株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境や企業業績の改善が続く中、個人消費や企業の設備投資が持ち直し景気は緩やかな回復基調が継続しました。

世界経済は、米国では堅調な動きが続き、欧州、中国では持ち直しの兆しが見られましたが、米国新政権の政策による影響や中国経済の先行き懸念、金融資本市場の変動等の影響など先行きが不透明な状況は依然として継続しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、金属チタン事業においては航空機向け需要の回復に加えウクライナ紛争に起因するサプライチェーンの変化もあり、製品販売は引き続き堅調に推移しました。コスト面では、輸入原材料価格や電力価格はピークアウトしたものの依然として高い水準を維持しております。また、円の対米ドル相場は前年同期に比べ更に円安が進行しました。

こうした中、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高658億5百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益44億47百万円（同14.6%増）、経常利益44億83百万円（同10.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億15百万円（同5.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 金属チタン事業

当第3四半期連結累計期間における金属チタンの販売は、米国の大手航空機メーカーであるボーイング社において、品質問題やストライキの影響があるものの、航空機向け輸出スポンジチタンの販売は堅調に推移しました。一方、一般産業用途向けは中国メーカーの過剰生産により弱含んできているものの、前年同期並みの水準となりました。また、半導体向け高純度チタンの需要は回復傾向にあり、前年同期を上回る水準となりました。

収益面については、為替円安及び販売価格是正を主因に、同期間の金属チタン事業は、売上高492億71百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益50億28百万円（同92.5%増）となりました。

#### 触媒事業

当第3四半期連結累計期間における触媒の販売は、中国国内でのポリオレフィンの生産能力が過剰となりポリプロピレンの輸出量が大幅に増加した影響で、中国周辺諸国の当社顧客において生産量の回復が遅れているものの、その他の地域では触媒使用量回復の兆しが見られたため、前年同期を上回る水準となりました。

こうした中、同期間の触媒事業は、売上高74億46百万円（前年同期比35.9%増）、営業利益は在庫調整により対前年同期に比べ低稼働率となった影響はあるものの16億8百万円（同1.0%増）となりました。

#### 化学品事業

当第3四半期連結累計期間における主要製品の超微粉ニッケルの販売は、主な用途である積層セラミックコンデンサ（MLCC）の中国における経済停滞等の影響がおおむね底を打ち、まだ流通在庫調整はあるものの需要自体は各分野で回復し始めたことにより、前年同期を上回る水準となりました。

一方、ニッケルの国際価格（LME〔ロンドン金属取引所〕価格）の下落等による販売価格低下、更に在庫バランス改善のための超微粉ニッケルの生産調整を行なった結果、同期間の化学品事業は、売上高90億88百万円（前年同期比4.6%増）、営業損失8億15百万円（前年同期は9億48百万円の利益）となりました。

## セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2025年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減率
金属チタン事業	49,271	42,327	16.4%
触媒事業	7,446	5,478	35.9%
化学品事業	9,088	8,685	4.6%
合計	65,805	56,490	16.5%

## セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2025年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減率
金属チタン事業	5,028	2,612	92.5%
触媒事業	1,608	1,592	1.0%
化学品事業	△815	948	—
全社費用	△1,374	△1,272	—
合計	4,447	3,882	14.6%

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、売掛債権及び棚卸資産の減少等により、前連結会計年度末比2億13百万円減の1,257億88百万円となりました。

負債の部は、短期借入金の減少を主因に、前連結会計年度末比15億47百万円減の679億7百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比13億33百万円増の578億81百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.9%から46.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2024年5月8日に公表致しました通期の連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日(2025年2月7日)公表の「2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,880	6,357
受取手形及び売掛金	18,752	13,971
電子記録債権	289	297
商品及び製品	27,555	26,222
仕掛品	10,804	10,149
原材料及び貯蔵品	14,212	14,892
未収入金	876	1,300
その他	1,371	999
流動資産合計	75,743	74,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,664	17,536
機械装置及び運搬具（純額）	17,953	16,083
工具、器具及び備品（純額）	560	721
土地	2,449	2,449
リース資産（純額）	1,597	1,448
建設仮勘定	7,962	10,964
有形固定資産合計	47,188	49,203
無形固定資産		
ソフトウェア	776	713
ソフトウェア仮勘定	34	-
その他	16	10
無形固定資産合計	826	724
投資その他の資産		
関係会社株式	91	97
繰延税金資産	675	59
退職給付に係る資産	810	827
その他	668	686
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,244	1,669
固定資産合計	50,258	51,597
資産合計	126,002	125,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,989	5,120
短期借入金	36,142	34,346
リース債務	212	1,460
未払法人税等	1,100	793
賞与引当金	1,790	922
役員賞与引当金	187	119
その他	4,170	4,046
流動負債合計	47,592	46,809
固定負債		
長期借入金	18,372	18,982
リース債務	1,401	2
資産除去債務	2,088	2,113
固定負債合計	21,861	21,098
負債合計	69,454	67,907
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,023	13,023
利益剰余金	31,642	33,007
自己株式	△78	△78
株主資本合計	56,550	57,915
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△361	△334
退職給付に係る調整累計額	358	299
その他の包括利益累計額合計	△2	△34
純資産合計	56,547	57,881
負債純資産合計	126,002	125,788

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	56,490	65,805
売上原価	45,579	53,791
売上総利益	10,911	12,014
販売費及び一般管理費	7,029	7,567
営業利益	3,882	4,447
営業外収益		
為替差益	308	196
物品売却益	35	28
受取技術料	-	63
受取保険金	32	24
持分法による投資利益	10	11
その他	18	26
営業外収益合計	405	350
営業外費用		
支払利息	158	231
災害損失	-	53
その他	80	29
営業外費用合計	239	314
経常利益	4,048	4,483
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	43	135
特別損失合計	43	135
税金等調整前四半期純利益	4,005	4,354
法人税、住民税及び事業税	497	771
法人税等調整額	461	367
法人税等合計	959	1,138
四半期純利益	3,046	3,215
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,045	3,215



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,046	3,215
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△40	-
為替換算調整勘定	1	27
退職給付に係る調整額	△12	△59
その他の包括利益合計	△52	△31
四半期包括利益	2,994	3,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,993	3,184
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,327	5,478	8,685	56,490	—	56,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,555	—	4	1,560	△1,560	—
計	43,883	5,478	8,689	58,050	△1,560	56,490
セグメント利益	2,612	1,592	948	5,154	△1,272	3,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,272百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,271	7,446	9,088	65,805	—	65,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,329	—	7	1,336	△1,336	—
計	50,600	7,446	9,095	67,142	△1,336	65,805
セグメント利益又は損失(△)	5,028	1,608	△815	5,822	△1,374	4,447

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,374百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	5,512百万円	5,790百万円